



# おのまち 社協だより

2017  
第55号  
11.13

発行  
社会福祉法人小野町社会福祉協議会  
〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字美売57-1



～いつまでもお元気でお過ごしください～

平成29年9月18日、「小野町敬老会」が盛大に行われました。この会は小野町と社会福祉協議会が主催となり今年度で第55回目の開催となります。毎年、ボランティアとして小野高校生の皆さんのが参加協力してくださり敬老者の皆さんへの案内などを行っています。世代間交流の場としてまた、思いやりの心を培う場としても今後も積極的に参加してください。今回参加してくださった16名の小野高校生の皆さん、誌面上より御礼申し上げます。



TEL 0247-72-6866 FAX 0247-71-0471  
mail ono-shakkyo@sunny.ocn.ne.jp

～赤い羽根共同募金運動が始まります～

## 地域の福祉活動を応援する募金『赤い羽根』

今年も10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が実施されます。赤い羽根共同募金は、社会福祉法に基づいて全国一斉に行われる地域福祉の推進を図るための募金運動です。昨年の共同募金運動では、小野町全体で2,889,133円のご協力をいただき、学校や団体などの福祉活動に役立たせていただきましたことができました。今年も、皆様のあたたかいで協力をお願いします。

### 共同募金Q&A

Q. 赤い羽根共同募金とは、どういう募金なの?

A. 赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動を支える募金です。赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉活動を進めるための資金を、寄付という形で広く募る募金運動です。戦後間もない昭和22年に始まり、今年で71回目を迎えます。社会福祉施設・団体への機器整備や事業費の助成、さらには、ボランティア活動など地域の草の根活動や災害時のボランティア活動支援など、民間の社会福祉事業を支える大きな力となっています。



Q. どうして赤い羽根がシンボルマークなの?

A. 赤い羽根は、「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルです。赤い羽根は、むかしから世界中で、勇気や良い行いのしるしとして使われてきました。

Q. 集められた募金はどのように使われているのですか?

小野町内の皆さんからお寄せいただいた募金の約60%が、小野町社会福祉協議会事業の中で、社会福祉団体・施設・ボランティア活動などに配分され、小野町の地域福祉に役立てられています。残りの40%が福島県内の福祉施設・福祉団体・NPO法人ボランティア団体・災害時の積立金などに役立てられています。

共同募金については小野町共同募金委員会までご連絡ください

【お詫びと訂正】おのまち社協だより 第54号におきまして誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

- ▶ 2ページ／遺志(社会福祉のために)宗像 政之 (浮 金) (故祖母 宗像 民)
- ▶ 3ページ／遺志(社会福祉のために)矢吹 晃 (小野赤沼) (故父 矢吹 公秀)



### 編集後記

敬老会、サマーショートボランティア、共同募金活動。今月号では思いやりや助け合いの精神をクローズアップしています。住み慣れた地域で世代を超えて支えあって生きていく…。その気持ちを大切に育んでいきたいものです。

社会福祉法人小野町社会福祉協議会

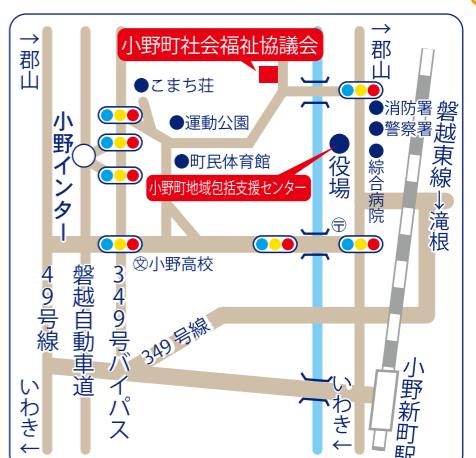
〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町  
字美売 57 番地1  
TEL 0247-72-6866 FAX 0247-71-0471

○小野町指定相談支援事業所  
TEL 0247-61-6101 FAX 0247-71-0471

○小野町居宅介護支援センター  
TEL 0247-72-6377 FAX 0247-71-0471

○小野町デイサービスセンター  
TEL 0247-72-6777 FAX 0247-71-0471

○小野町地域包括支援センター  
〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町  
字品ノ木 111  
TEL 0247-72-2128 FAX 0247-61-6102



小野町社会福祉協議会では個人情報保護法に関して適用されている法令、国が定める方針その他の規範を遵守し、保有する個人情報の保護に努めます。

小野高等学校産業技術系  
列の一年生の皆さんのが当協議会にブランセンターの花を届けてくださいました。

ベコニアの花は、ディサービス利用者や来客者の鑑賞用に大変喜ばれています。  
「自分達が一生懸命に育てた美しい花を地域の方に見ていただきたい。」との皆さんの善意に感謝申し上げます。



## おのまちあったかサロン紹介



にこにこ会(菖蒲谷行政区)では毎週金曜日、集会所に集まりメンバーの皆さん独自で考案した軽運動やレクリエーションを行い、お茶を飲みながら交流を深めています。この日は講師を招き、プリザーブドフラワー

講習会を実施しました。細かな作業もあり労されていた面も見受けられましたが11名の色鮮やかなプリザーブドフラワーが無事完成した時にはメンバー皆さんで喜んでおられました。

## 遺志（社会福祉のために）

吉田 義之（上羽出庭）（故父幸一）  
大竹 昭一（塙庭二区）（故母カツコ）  
矢内 清仁（中通）（故母キヨノ）  
先崎 富雄（谷津作）（故叔母ケサヨ）  
吉田 徳一（夏井）（故父正徳）  
新田 昭弘（本町）（故父久市）  
亀田 卓（平館）（故祖母秀子）  
白石 寿幸（谷津作）（故祖母チカエ）  
永山 俊陸（小戸神）（故義母國分ミサ）  
郡司 孝（小野山神）（故父光治）

村上 桂太（本町）（故父和秀）  
本多 よしい（本町）（故夫廣二）  
今泉 健一（夏井）（故父熊二郎）  
村上 明生（飯豊下）（故母キノ）  
村上 貞夫（飯豊下）（故母ハナ）  
草野 正二（本町）（故母ミヨ）  
生天目昭夫（大八）（故義父武田之夫）  
藤井 正幸（浮金）（故父歳尾）  
水野 真実（反町）（故祖母ふさ）  
橋本 家康（中通）（故母玉子）  
緑川 和芳（仲町）（故母喜美代）  
小坂 光邦（反町）（故母タケ子）

渡部 行雄（中通）（故父直行）  
石井 錠一（浮金）（故母静子）  
山田 季平（仲町）（故母トミ）  
新田 博（中通）（故母次子）  
庭瀬 健（塙庭一区）（故母千代子）  
村上 一男（谷津作）（故母キヨ子）  
吉田 寿一（飯豊下）（故祖母マサ子）  
吉田 隆子（反町）（故父徳三）  
石井 武富（浮金）（故母セイ）  
倉田 次男（小野赤沼）（故母ヤス）

平成29年6月1日～9月30日までの掲載

平成二十九年九月十一日、小野町役場分庁舎において社会福祉事業の経営者は提供する福祉サービスについて苦情解決第三者委員の委嘱状交付を行いました。  
社会福祉法において社会福祉事業の運営者は提供する福祉サービスについて苦情解決の体制を整備し、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならないと定められています。  
その重要な役割を担つていただく三名の方、よろしくお願いいたします。

草野 裕子 委員  
平野 信代 委員  
過足 義夫 委員



# 参加生徒の感想文より

## 特別養護老人ホームこまち荘

利用者さんへの対応方法も全員が同じというわけではなく、一人ひとりへの声の掛け方があるのだと改めて感じました。

(小野高等学校2年 小野 愛望)

今後の実習や自宅での介助に活かしきることを増やしたいです。利用者の方としっかりと目線を合わせることも忘れずに頑張ります。

(小野高等学校2年 郡司 一毅)

## 機能訓練センターさくら

利用者さんの人生の体験談などを聞くことができ、ためになりました。コミュニケーション技術を高め、来年も頑張りたいです。

(小野高等学校1年 遠藤 若菜)

このボランティアに参加して接する時は腰を低くし、目を見て笑顔で話すように心がける、周りを良く見て行動することも大事だということを学びました。

(小野高等学校2年 小林 紗奈)

## グループホームさくらんぼ仲町

お昼ご飯の時利用者さんとあまり話すことはできませんでしたが職員の方が優しく教えてくださったので安心し、食事介助はどのようにすればいいのかなど学ぶことができました。

(小野高等学校1年 鈴木 楓)

最初は自分から話しかけるにも何を話したらいいのか分からず困りましたが職員の方々が話を振ってくださったのでそこから色々な話ができるようになりました。

(小野高等学校1年 水野 瑞希)



## 特別養護老人ホームさくら

お茶やコーヒーを作る時、人によってとろみをつけたり加減が違うため心配でしたがやってみると慣れてより良いものを作ることができました。

(小野高等学校1年 影山 孝輝)

実際の着脱介助は難しくうまく行うことができませんでしたが、食事介助では職員さんに「上手だね」と褒められ自信を持つことが出来ました。

(小野高等学校2年 渡邊 麗葉)

## デイサービスセンターあすか

利用者さん達に塗り絵や折り紙などの認知症予防や足のリハビリを行うなど、職員の方の細かい所まで気を配っているのでとても感心しました。

(日本大学東北高等学校1年 秋元 祐貴)

ボランティアとして参加して感じたことは職員の方々は毎日疲れた表情を見せずに働いていたことです。それには体力が必要なんだということが分かりました。

(日本大学東北高等学校1年 李和子)

## NPO法人ほっとプラスこまち

この3日間は私にとって初めての経験が多くとてもよい刺激となりました。本当にこのような体験をさせていただけて良かったです。また機会があれば伺いたいです。

(小野高等学校2年 枝内 美紗紀)

わからない時に利用者さんと職員さんが温かく優しく教えてくださいました。将来は福祉の職に就き皆さんのような職員さんになりたいと思いました。

(小野高等学校2年 田中 七星)

## グループホームさくらんぼ

施設は家庭的で入居者さんと職員さんが一緒に掃除をしたりしてすごく楽しそうでした。入居者さんとたくさん話すことができて良かったです。

(小野高等学校1年 過足 美咲)

利用者さんを車椅子に乗せて昼食の買物に行きました。実際に道路を車椅子で押してみて歩くよりも道のこぼこを感じやすかったです。

(小野高等学校1年 先崎 美鈴)

## JA福島さくら は～とらいふ小野

開講式で行った車椅子の実技体験を施設で活かすことができました。練習ではできなかった声掛けも大きな声でできました。

(小野高等学校1年 永山 文香)

学校では習っていても現実では台本通りのようにうまくいかないが臨機応変に対応していくことを学ぶことができて良かったです。

(小野高等学校1年 岡田 幸佐)

## 小野町デイサービスセンター

ボランティアに参加し、たくさんの利用者さんとスタッフさんと出会い、気配り配慮ができて、いつも笑顔でいる大人になろうと思いました。

(日本大学東北高等学校1年 富田 真央)

慣れてきて色々な話をすることができました。高齢の方々は今までの人生で色々な経験をしているので身になる話が聞けて良かったです。

(日本大学東北高等学校1年 矢作 駿介)



# サマーショートボランティアスクール、 夏休み期間中貴重な体験ができました。



夏休みを利用して学生の皆さんが福祉施設で3日間のボランティア体験を行う「サマーショートボランティアスクール」を開催しました。今年度で第27回目となるスクールには町

内外より19名の高校生が参加し、施設内で利用者との交流や行事参加、環境整備を行いました。毎年、快く受け入れていただく施設の皆様、ご協力ありがとうございました。

# デイサービスセンター 通信

9月18日から21日までの4日間、デイサービスセンター敬老会を開催しました。今年は敬老祝いのくす玉を作成し、当日の代表利用者2名に紐を引いていただきました。また、利用者の皆さんには敬老祝いとして、紅白まんじゅうと記念品をお渡しました。昼食も敬老会メニューで、いつもより豪華な昼食を楽しんでいただきました。余興は



秋  
行事報告  
2017

# デイサービスセンター 通信

8月7日から11日までの5日間、デイサービスセンター内で夏祭りを開催しました。8月1日から4日まで夏祭りの飾り付けになる提灯の色染めなどを利用者の皆さんで行い、会場を賑やかに飾りました。利用者



の皆さんにはヨーヨー釣りや的あてゲームに参加され、楽しいひと時を過ごされました。また、おやつは夏祭りにちなんだかき氷や焼きそばを召し上がっていただきました。

夏  
行事報告  
2017

## 利用者作品紹介



先崎 忠男 様



郡司 房子 様



草野 武 様



郡司 志之武 様



郡司 邦子 様